

県立広島大学 庄原キャンパス「平成26年度重点研究事業」成果発表会プログラム

平成27年8月31日(月)

会場

庄原C：1202講義室(1号館)

13:00～17:50

順番	発表時間 (質疑応答を含む)	研究区分	研究計画代表教員			研究課題名	小冊子 ページ	発表者	
			所属	職名	氏名				
	13:00～13:10	開会挨拶・進行説明	(開会挨拶：研究推進委員会 原田委員長, 進行説明(司会)：池田 経営企画室長)						
1	13:10～13:30	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	教授	田井 章博	生細胞内のアスコルビン酸濃度分布のイメージング化に関する研究	3		
2	13:30～13:50	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	教授	福永 健二	新規にゲノムシーケンスが解読された作物における、次世代シーケンサーを用いた遺伝子同定技術による形質関連遺伝子の単離と遺伝子機能の解析	5		
3	13:50～14:10	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	准教授	津田 治敏	広島牛の乳汁における乳酸菌の分布およびその機能性に関する研究	7	(事前録音データとPPTによる)	
4	14:10～14:30	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	准教授	山下 泰尚	鉄イオン輸送タンパク質・トランスフェリンの雌性生殖細胞への新たな機能—卵の減数分裂再開抑制メカニズムの解明とその体外培養系への応用—	9		
5	14:30～14:50	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	助教	藤田 景子	ブドウのアントシアニン生合成制御機構の解明に必要な培養細胞モデルの確立	11		
6	14:50～15:10	学際的・先端的研究(A)	生命環境・環境科学	准教授	青柳 充	庄原キャンパス近隣生育草本植物の資源組成評価と化学的応用検討	13		
7	15:10～15:30	学際的・先端的研究(A)	生命環境・環境科学	准教授	小林 謙介	広島県北東部における木材の有効利活用に関する研究 年次変化を考慮した環境影響・資源循環性の評価	15		
8	15:30～15:55 (学際先端Sは25分)	学際的・先端的研究(S)	生命環境・生命科学	教授	達家 雅明	RhoGDIBetaを標的とした細胞極性制御方法の応用生命科学研究	23		
9	15:55～16:20 (学際先端Sは25分)	学際的・先端的研究(S)	生命環境・生命科学	准教授	野下 俊朗	広島県産レモンに含まれる機能性成分の作用および効果に関する研究	25		
10	16:20～16:40	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	教授	黒木 英二	耕作放棄地を活用した「ナマズ養殖」による地域6次産業創出と地域活性化に向けた「ナマズ」含有成分等からのアプローチ	43		
11	16:40～17:00	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	准教授	甲村 浩之	アスパラガスの冬採り促成栽培法確立のための技術開発	45		
12	17:00～17:20	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	准教授	堀田 学	タブレット端末活用による条件不利地域の高齢者支援の検討	47		
13	17:20～17:40	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	准教授	吉野 智之	灰塚ダム陸封鮎の6次産業化	49	黒木教授	
	17:40～17:50	学長講評・閉会挨拶	(学長講評：中村学長, 閉会挨拶(司会)：池田 経営企画室長)						